

みずほCustomer Desk Report 2019/09/04 号(As of 2019/09/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.32
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	106.20	1.0964	116.43	1.2063	0.6712
SYD-NY High	106.39	1.0979	116.46	1.2105	0.6764
SYD-NY Low	105.74	1.0926	115.87	1.1959	0.6688
NY 5:00 PM	105.96	1.0972	116.28	1.2087	0.6763
NY DOW	26,118.02	▲ 285.26	日本2年債	-0.2900	1.00bp
NASDAQ	7,874.16	▲ 88.72	日本10年債	-0.2800	▲1.00bp
S&P	2,906.27	▲ 20.19	米国2年債	1.4530	▲5.50bp
日経平均	20,625.16	4.97	米国5年債	1.3336	▲5.62bp
TOPIX	1,510.79	5.58	米国10年債	1.4616	▲3.70bp
シカゴ日経先物	20,595	▲ 70	独10年債	-0.7045	▲0.15bp
ロンドンFT	7,268.19	▲ 13.75	英10年債	0.4050	▲0.90bp
DAX	11,910.86	▲ 42.92	豪10年債	0.9170	1.10bp
ハンセン指数	25,527.85	▲ 98.70	USDJPY 1M Vol	8.09	0.15%
上海総合	2,930.15	6.05	USDJPY 3M Vol	7.85	0.07%
NY金	1,555.90	26.50	USDJPY 6M Vol	7.65	0.10%
WTI	53.94	▲ 1.16	USDJPY 1M 25RR	-1.85	Yen Call Over
CRB指数	169.19	▲ 1.17	EURJPY 3M Vol	8.61	0.06%
ドルインデックス	99.00	0.08	EURJPY 6M Vol	8.33	0.08%

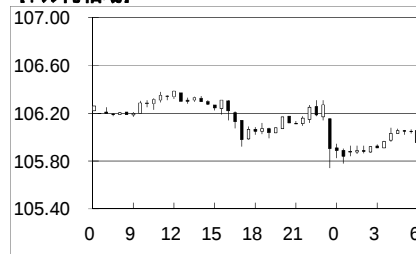
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月3日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	7月 -0.1%	0.2%
	13:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.00%
	22:45	米 マーケット・製造業PMI・確報	8月 50.3	50.0
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 49.1	51.2
	23:00	米 建設支出(前月比)	7月 0.1%	0.3%

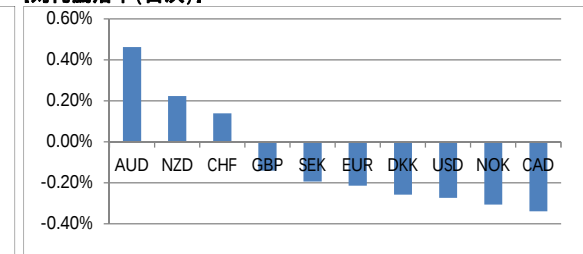
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月4日	10:30	豪 GDP(前期比/前年比)	7月 0.5%/1.4%	0.4%/1.8%
	10:45	中 Caxinサービス業/総合PMI	8月 51.7/-	51.6/50.9
	16:55	独 マーケットPMI(サービス業/コンボジット)	8月 54.4/51.4	54.4/51.4
	17:00	欧 マーケットPMI(サービス業/コンボジット)	8月 53.4/51.8	53.4/51.8
	17:30	英 マーケットPMI(サービス業/コンボジット)	7月 51.0/50.5	51.4/50.7
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	7月 -0.6%/2.0%	1.1%/2.6%
	21:30	米 貿易収支	7月 -\$53.5b	-\$55.2b
9月5日	03:00	米 ページブック	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-106.50	1.0920-1.1020	115.80-116.80

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は下落する展開となった。米中貿易摩擦が依然として続いている中、米8月ISM製造業景況指数が2016年8月以来初めて好不況の分かれ目となる50を割り込んだこと等を受け、ドル円は一時105.75レベルまで急落した。本日のドル円は方向感のない展開を予想。米ISM製造業景況指数の悪化による米経済の先行き不透明感からドル売りが先行しやすいものの、105円台半ばでは輸入企業等のドル買いが入る可能性もあり、本日のドル円は105円台半ばから106円台前半で方向感なく推移しそうだ。

東京	東京時間のドル円は106.20レベルでオープン。国内輸入企業のドル買い・円売りや日経平均株価の持ち直しに支えられて、106.39までじり高となった。しかし、前日の高値106.40が意識されると上げは一服し、106.20を中心とした狭いレンジで取引された後、106.31レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.31レベルでオープン。ロンドンオープンからブレグジットを巡る英政治不透明感を背景にポンド円が下落する流れにドル円もつれ一時105.92まで売られる。その後ポンド円の下落が一巡すると買い戻され106.11レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2011レベルでオープン。英国時間夕方より再開される英議会の控え政治不透明感からポンドは売られ一時1.20の大口を割り込み1.1959まで下落。その後ジョンソンの英首相が議会再開前に与党の造反組と話し合いをもったとの報道で調整のポンド買いが入ると今度は1.2084まで買われるが、結局1.2024レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は106.11レベルでNYオープン。朝方は軟調なダウ先物が下げ渋る展開に、クロス円が買い戻されたことから、ドル円も106.31まで戻す。しかし、10時に発表された米8月ISM製造業景況指数が、構成指数の雇用や、新規受注が大幅に悪化したことから、49.1と予想51.3を大きく下回り、景気の分岐である50も上回らなかったことから一気にドル売りが持ち込まれ、105.74まで下落する。その後は狭いレンジでの推移が続くが、午後に入り軟調な株式市場が下げ渋ったことから106.08まで戻し、105.96レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、来週のECB理事会を意識した動きや、ハードブレグジット懸念からポンドドルが売られる動きに連れ安となり、海外市場で1.0926まで下落し、1.0937レベルでNYオープン。朝方は、英野党のコービン党首が「ノー・ディール・ブレグジット」を阻止し、総選挙を望む」と発言したことからユーロポンドが下落する展開に、ユーロドルも1.0928まで下落する。その後は米ISM製造業景況指数を受けたドル売りに1.0979まで戻す。午後は、狭いレンジでの推移が続く、1.0972レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:ウー・森谷